

2019年12月期 決算説明資料

ライオン株式会社
2020年2月13日

本日の内容

- 2019年度 振返り
- 2020年度 取組み

2019年度 振返り

【対年初公表】

売上高、利益とも未達成

- 第3四半期以降、韓国・香港で事業環境が悪化、東南アジア地域で競争が激化。
- 順調に推移していた国内消費財事業も、年末にかけ主要分野で競争が激化。

【対前年】

売上高は微減収、事業利益は増益を確保

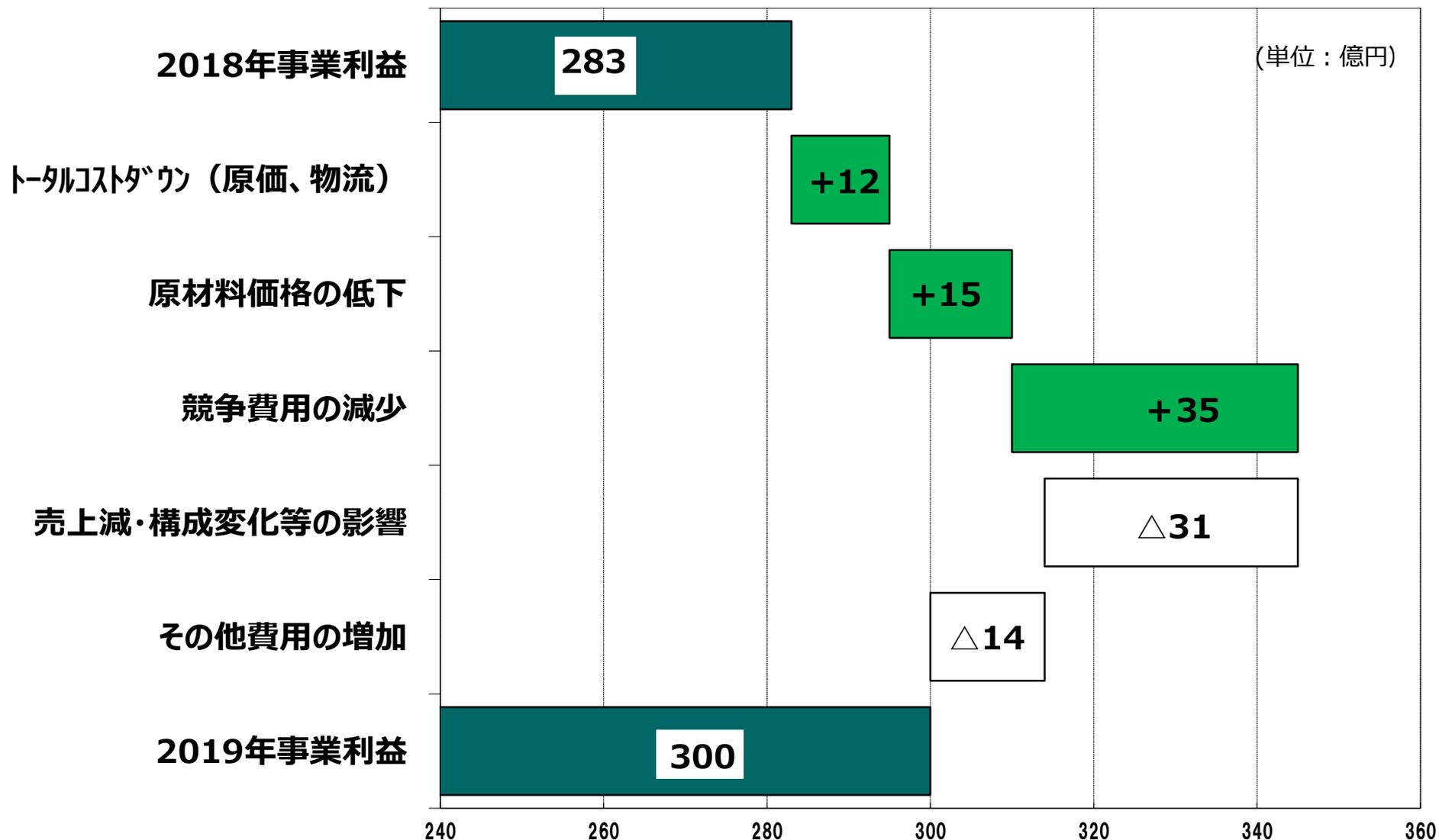
- 一般用消費財事業は増収も、海外事業、産業用品事業で減収、連結売上高は微減収。
- 一般用消費財事業の増収、海外事業の収益性改善により、事業利益は増益。

(単位：億円)

	2019年	2018年	増減		対2019年 年初公表 増減 対公表比 (%)
			額	率(%)	
売上高	3,475.1	3,494.0	△18.8	△0.5	△124.8 △3.5
事業利益 事業利益率 (%)	300.4 8.6	283.7 8.1	16.7	5.9	△14.5 △4.6
営業利益 営業利益率 (%)	298.3 8.6	341.9 9.8	△43.6	△12.8	△11.6 △3.8
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	205.5	256.0	△50.4	△19.7	△4.4 △2.1
基本的1株当たり 当期純利益 (円)	70.72	88.11	△17.39	△19.7	△1.53 △2.1

※事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

事業利益増減要因



セグメント別業績

LION

(単位：億円)	売上高				セグメント利益 (事業利益)		
	2019年	2018年	増減		2019年 率 (%)	増減	
			額	率(%)		額	率(%)
一般用消費財	2,343.5	2,315.9	27.6	1.2	196.3 8.4	18.0	10.1
	2,193.8	2,153.9	39.8	1.9			
産業用品	551.6	579.5	△27.9	△4.8	17.5 3.2	△6.0	△25.5
	329.5	340.5	△10.9	△3.2			
海外	1,010.9	1,050.4	△39.4	△3.8	75.5 7.5	6.7	9.8
	917.4	947.6	△30.2	△3.2			
その他	353.3	340.6	12.7	3.7	15.2 4.3	△1.9	△11.4
	34.2	52.7	△18.4	△35.0			
調整額	△784.3	△792.6	8.2	—	△4.1 —	△0.0	—
	0.1	△0.7	0.9	—			
連結計	3,475.1	3,494.0	△18.8	△0.5	300.4 8.6	16.7	5.9

※売上高：上段は総売上高、下段は外部売上高、事業利益率：総売上高に対する率

一般用消費財事業 分野別売上高

LION

(単位：億円)	総売上高			
	2019年	2018年	増減	
			額	率(%)
オーラルケア	645.5	595.0	50.5	8.5
ビューティケア	223.5	210.2	13.2	6.3
ファブリックケア	607.8	597.9	9.9	1.7
リビングケア	197.6	178.9	18.7	10.5
薬品	262.2	292.2	△30.0	△10.3
その他	406.8	441.5	△34.7	△7.9
合計	2,343.5	2,315.9	27.6	1.2

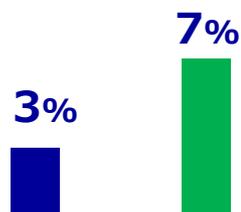
※薬品分野の昨年殺虫剤事業譲渡の影響を除く実質成長率は△4.9%

店頭販売金額ベースでは市場を上回る成長



オーラルケア

+4p

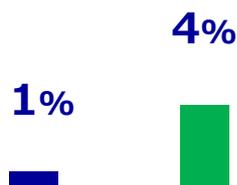


市場 ライオン



ビューティケア

+3p



市場 ライオン



ファブリックケア

±0p

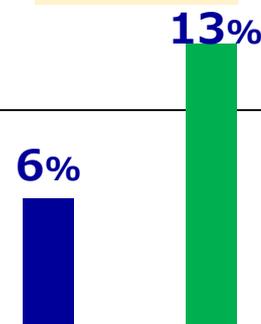


市場 ライオン



リビングケア

+7p



市場 ライオン



薬品

+3p



市場 ライオン

出展：市場、ライオンとも(株)インテージSRI/SDIデータ 2019年 1-12月金額前期比伸び率

高付加価値品の成長継続

●オーラルケア分野 (+8.5%) : 高成長継続

ムシ歯予防

予防歯科から生まれた
クリニカ



歯周病予防

システム



口臭ケア

口臭科学から生まれた
NONIO



●リビングケア分野 (+10.5%) : 浴室用洗剤のシェア拡大が成長を牽引

ルックPLUS
バスタブ
クレンジング



【地域別売上高】

(単位：億円)	総売上高			
	2019年	2018年	増減	
			額	率 (%)
東南アジア	695.5	702.0	△6.4	△0.9
北東アジア	315.3	348.3	△33.0	△9.5
合計	1,010.9	1,050.4	△39.4	△3.8

※東南アジアの原料製造子会社が2018年5月末をもって連結対象から外れています。
 東南アジアにおける上記影響を除く実質成長率は+1.8%

- ・韓国、香港で事業環境が急速に悪化
- ・中国事業が2桁成長

2020年度 取組み

2020年度 連結業績予想

LION

(単位：億円)	2020年	2019年	増減		LIVE計画* 2020年	対LIVE計画 2020年 増減額
			額	率(%)		
売上高	3,550.0	3,475.1	74.8	2.2	4,000.0	△450.0
事業利益 事業利益(%)	305.0 8.6	300.4 8.6	4.5	1.5	400.0 10.0	△95.0
営業利益 営業利益(%)	310.0 8.7	298.3 8.6	11.6	3.9	400.0 10.0	△90.0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	210.0	205.5	4.4	2.1	280.0	△70.0
基本的1株当たり 当期利益(円)	72.24	70.72	1.52	2.1	—	—

* LIVE計画は2018年2月9日発表。

※事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

2020年度 セグメント別外部売上高予想

(単位：億円)

	外部売上高			
	2020年	2019年	増減	
			額	率(%)
一般消費財	2,250.0	2,193.8	56.1	2.6
産業用品	335.0	329.5	5.4	1.7
海外	935.0	917.4	17.5	1.9
その他	30.0	34.2	△4.2	△12.5
連結計	3,550.0	3,475.1	74.8	2.2

2020年予想 外部売上高比較

単位：億円	2020年 予想	増減額	
		対LIVE計画 発表時	対2017年 実績
一般用消費財	2,250.0	△250.0	98.7
産業用品	335.0	△15.0	8.9
海外	935.0	△190.0	27.7
その他	30.0	+5.0	△10.9
合計	3,550.0	△450.0	122.9

【LIVE計画発表時との乖離】

- 一般用消費財 △250億円
 - ・ファブリックケア分野、通販事業の競争激化等により想定を下回った。
- 海外事業 △190億円
 - ・事業環境が悪化した韓国、初年度に構造改革を進めた中国などで当初想定を下回った。

2020年度 連結業績予想

(単位：億円)	2020年	2019年	増減	
			額	率(%)
売上高	3,550.0	3,475.1	74.8	2.2
事業利益 事業利益(%)	305.0 8.6	300.4 8.6	4.5	1.5
営業利益 営業利益(%)	310.0 8.7	298.3 8.6	11.6	3.9
親会社の所有者に 帰属する当期利益	210.0	205.5	4.4	2.1

※事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

国内外で売上の成長を目指す一方、将来を見据えた成長投資を強化するため、利益は前年並み水準

国内

- **オーラルケア分野の成長持続**
- **薬品分野でのプレゼンス拡大**
- **インバウンド需要の取り込み**

海外

- **中国事業の成長加速**
- **東南アジアの成長回復**

20-30代若年層



習慣を作る

40-50代中高年層



習慣を変える

60-70代シニア層



今の幸せを維持する



今ある歯を1本でも多く守る

デントヘルス

口臭科学から生まれた

NONIO

システム

ハグキプラス

【新習慣の創出】

“オフィスでの昼歯みがき”を促し、
「家の外」にも、新しいマーケットを創造する



解熱鎮痛薬、点眼剤に次ぐ第3の柱として皮膚用薬を育成



(当社調べ)

かゆみ
メソッド

乾燥
FERZEA

美容※にきび含む
PAIR

メソッド大幅リニューアル

メソッド

かゆみの治療は「部位」で選ぶ メソッドシリーズ

3月4日発売

頭皮

Cローション

顔・

デコルテ

Wクリーム

汗を

かく部位

ASローション

手・指

ASクリーム

AS軟膏

つらい
症状に

プレミアム
ASクリーム

プレミアム
AS軟膏



スタンダードシリーズ

ステロイドが気になる部位・気になる人に
＜非ステロイド＞

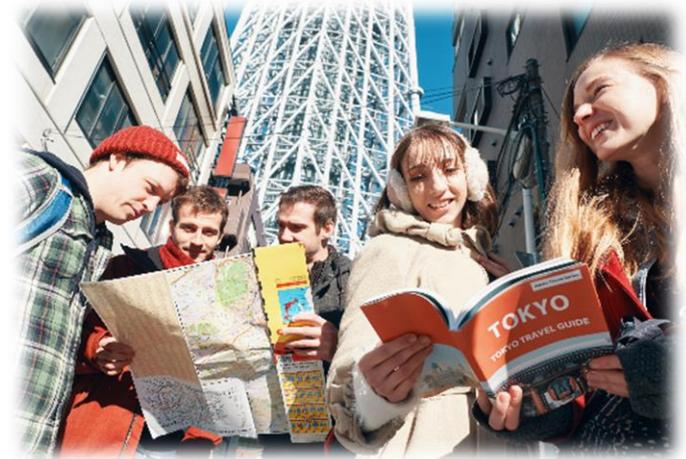
優れた効果の＜アンテドラッグステロイド＞

プレミアムシリーズ

優れた効果の＜アンテドラッグステロイド＞を含むメソッドシリーズ
最多の8種の有効成分

オリンピック／パラリンピックでの訪日観光客の増加によるインバウンド需要の拡大

- モバイルマーケティングの活用
- インバウンド企画品の拡充
- 推奨販売の強化



一過性の需要取り込みにとどまらず、
越境事業、海外事業拡大に繋げる。

日本発ブランドの信頼感、安心感を武器に 販路拡大、ブランド育成を強化

- 多様な販売チャネルによる中国生活者へのアプローチ
- 日本製品の供給拡大
- 日本のノウハウと現地の強みを融合させたマーケティングによるブランド育成
- 予防歯科の浸透による市場拡大



『LION（獅王）』ブランドのロイヤルユーザーを拡大

衣料用洗剤主体の事業ポートフォリオの見直し

- 中間所得層の増加
- ヘルスケアニーズの高まり



パーソナルケア分野の拡充

ホームケア分野の付加価値化

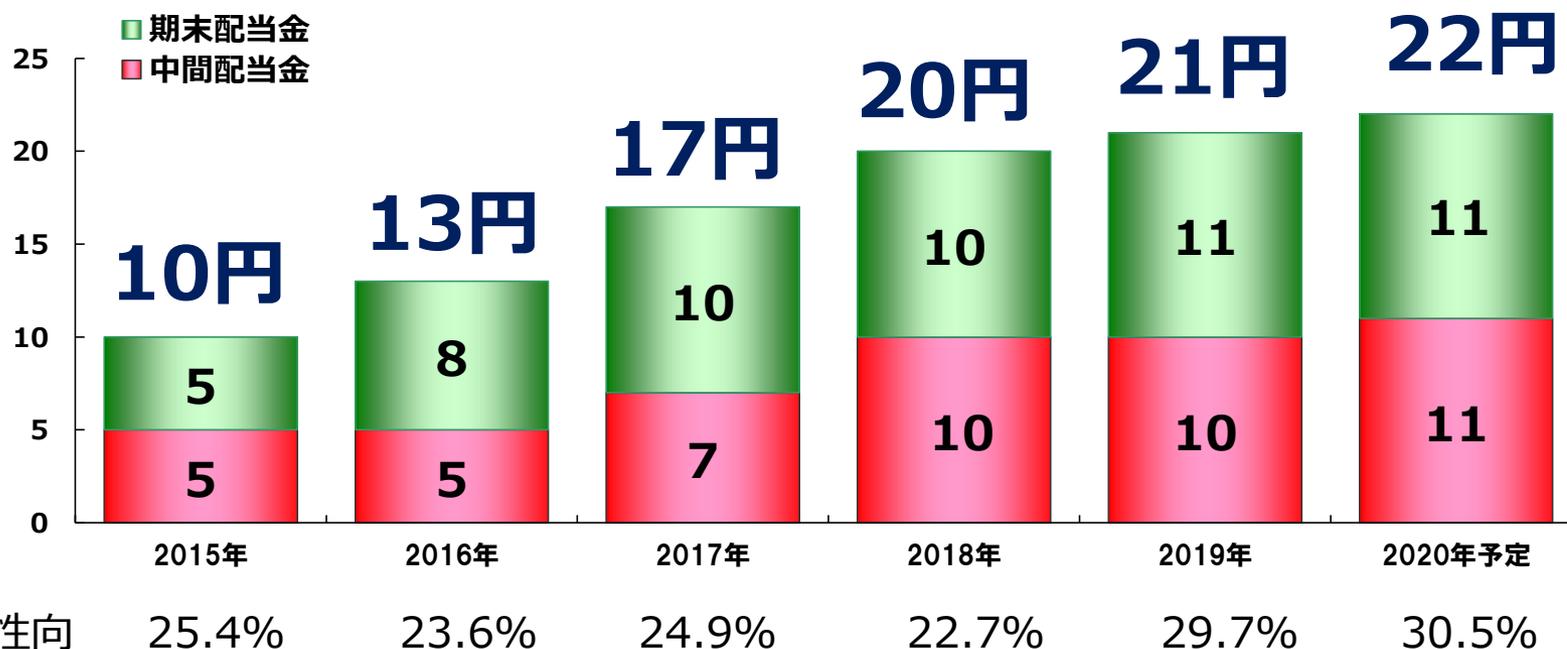
※パーソナルケア分野：オーラルケア、ビューティケア

※ホームケア分野：ファブリックケア、リビングケア

「天然ミント」にこだわり続ける



配当は1円増配、年間22円を予定 5期連続で増配を継続



**配当の基本方針：継続的かつ安定的な利益還元を行う
(目安として連結配当性向30%)**

參考資料

【連結損益計算書】

(単位：億円)	2019年	2018年	増減	
			金額	率 (%)
売上高	3,475.1	3,494.0	△18.8	△0.5
売上原価	1,755.8	1,776.7	△20.8	△1.2
売上総利益	1,719.3	1,717.2	2.0	0.1
販売費及び一般管理費	1,418.8	1,433.5	△14.7	△1.0
事業利益	300.4	283.7	16.7	5.9
その他の収益	15.1	74.3	△59.1	△79.6
その他の費用	17.3	16.1	1.2	7.8
営業利益	298.3	341.9	△43.6	△12.8
金融収益	7.5	7.8	△0.3	△4.8
金融費用	1.6	1.3	0.3	21.8
持分法による投資利益	9.8	8.0	1.7	21.8
税引前当期純利益	314.0	356.5	△42.5	△11.9
法人所得税費用	84.2	58.7	25.4	43.4
当期純利益	229.8	297.8	△68.0	△22.8
非支配持分に帰属する 当期純利益	24.2	41.7	△17.5	△42.0
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	205.5	256.0	△50.4	△19.7

【販売費及び一般管理費】

(単位：億円)	2019年		2018年		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	率(%)
販売費及び一般管理費	1,418.8	40.8	1,433.5	41.0	△14.7	△1.0
販売手数料	91.6	2.6	93.0	2.7	△1.4	△1.5
販売促進費	262.1	7.5	259.3	7.4	2.8	1.1
広告宣伝費	251.1	7.2	287.8	8.2	△36.6	△12.7
運賃・保管料	197.8	5.7	191.0	5.5	6.8	3.6
研究開発費	109.4	3.1	109.6	3.1	△0.2	△0.2
その他	506.4	14.6	492.5	14.1	13.9	2.8

【連結財政状態計算書】

(単位：億円)		2019年	2018年	増減額
流動資産		2,224.9	2,159.3	65.6
	現金及び現金同等物	1,104.0	1,049.7	54.3
	営業債権及びその他の債権	617.5	646.9	△29.3
	棚卸資産	435.5	420.5	14.9
非流動資産		1,582.0	1,394.3	187.7
	有形固定資産	909.0	815.4	93.5
	無形資産	134.8	101.6	33.2
	使用権資産	59.4	—	59.4
	その他の金融資産	255.1	250.9	4.2
資産合計		3,807.0	3,553.6	253.3

(単位：億円)		2019年	2018年	増減額
流動負債		1,357.1	1,297.4	59.7
	営業債務及びその他の債務	1,162.6	1,169.8	△7.1
	リース負債	14.9	—	14.9
	その他の流動負債	76.5	70.5	6.0
非流動負債		237.8	213.5	24.3
	退職給付に係る負債	120.9	109.5	11.3
	リース負債	55.1	—	55.1
資本		2,212.0	2,042.7	169.2
	資本金	344.3	344.3	—
	資本剰余金	347.8	347.1	0.7
	自己株式	△47.3	△47.6	0.2
	その他の資本の構成要素	113.2	109.2	3.9
	利益剰余金	1,326.1	1,158.0	168.1
負債及び資本合計		3,807.0	3,553.6	253.3

【連結キャッシュ・フロー計算書】

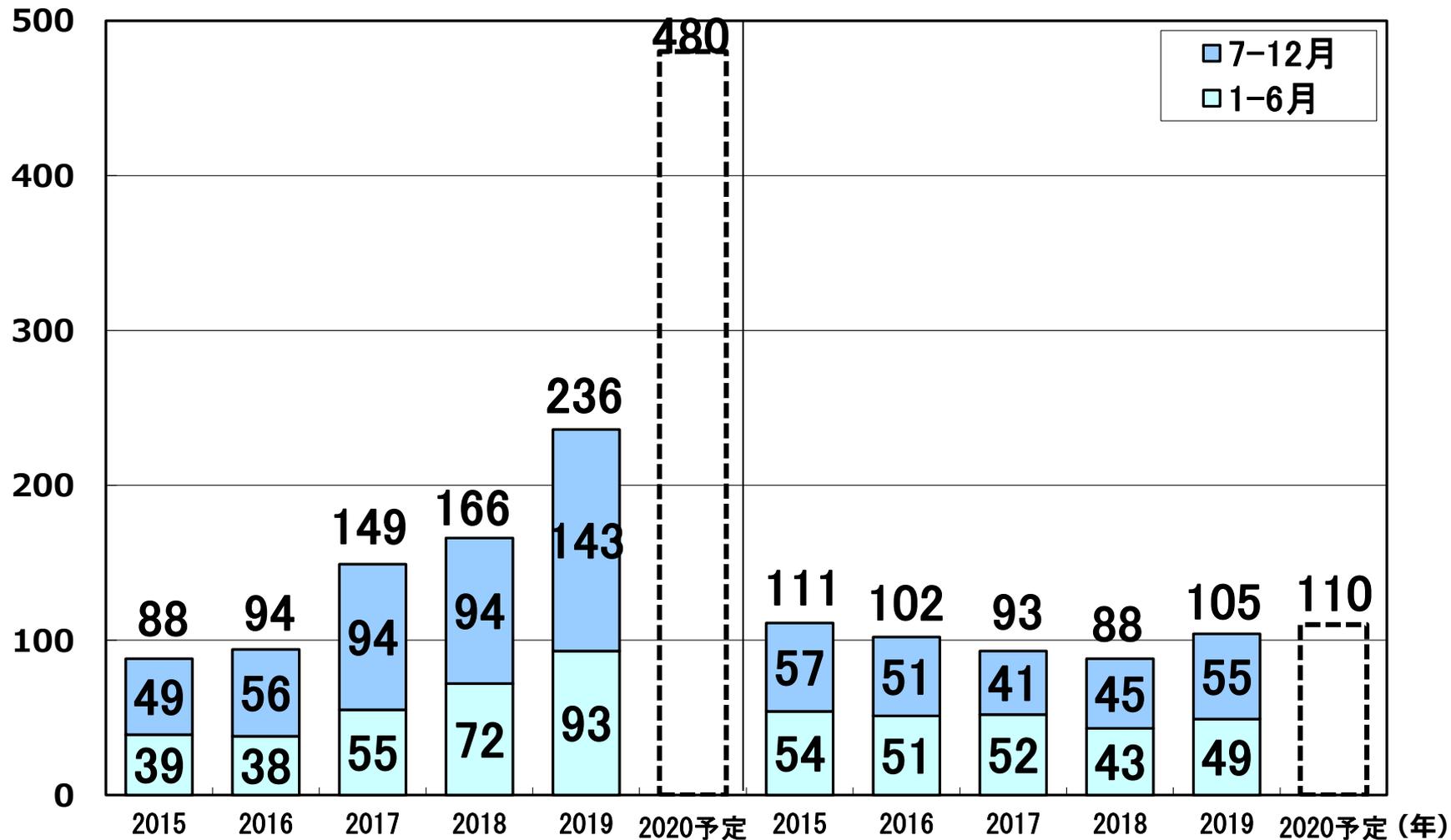
(単位：億円)	2019年	2018年	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	367.6	318.7	48.8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207.5	△89.8	△117.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105.6	△87.5	△18.0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0.1	△5.6	5.5
現金及び現金同等物の増減額	54.3	135.7	△81.3
現金及び現金同等物に期首残高	1,049.7	914.0	135.7
現金及び現金同等物の期末残高	1,104.0	1,049.7	54.3

【設備投資額・減価償却費】

(単位：億円)

設備投資額

減価償却費



※設備投資額、減価償却費ともに無形固定資産分も含む。

【2020年 連結業績予想】

(単位：億円)	2020年	2019年	前期増減		2020年 第2四半期	2019年 第2四半期	前年同期増減	
			額	率 (%)			額	率 (%)
売上高	3,550.0	3,475.1	74.8	2.2	1,680.0	1,673.3	6.6	0.4
事業利益 売上比(%)	305.0 8.6	300.4 8.6	4.5	1.5	125.0 7.4	124.5 7.4	0.4	0.3
営業利益 売上比(%)	310.0 8.7	298.3 8.6	11.6	3.9	130.0 7.7	128.8 7.7	1.1	0.9
親会社の所有者 に帰属する当期利益 売上比(%)	210.0 5.9	205.5 5.9	4.4	2.1	90.0 5.4	86.8 5.2	3.1	3.6
基本的1株当たり 当期利益 (円)	72.24	70.72	1.52	2.1	30.96	29.89	1.07	3.6

【2020年 セグメント別外部売上高予想】

(単位：億円)	2020年	2019年	前期増減		2020年 第2四半期	2019年 第2四半期	前年同期増減	
			額	率 (%)			額	率 (%)
一般用消費財	2,250.0	2,193.8	56.1	2.6	1,060.0	1,028.9	31.0	3.0
産業用品	335.0	329.5	5.4	1.7	160.0	160.2	△0.2	△0.2
海外	935.0	917.4	17.5	1.9	445.0	467.1	△22.1	△4.7
その他	30.0	34.2	△4.2	△12.5	15.0	16.5	△1.5	△9.1
連結計	3,550.0	3,475.1	74.8	2.2	1,680.0	1,673.3	6.6	0.4

【国内家庭品・OTC医薬品市場の推移】

1) 家庭品SRI 当社参入主要38市場※計 前年同期比 (%)

	2014年 年計	2015年 年計	2016年 年計	2017年 年計	2018年 年計	2019年 年計
販売金額	102	103	104	99	102	102
販売個数	100	100	102	98	100	100
平均単価	102	102	102	102	102	102

※(株)インテージ S R I データ (2014年は当社参入主要40市場、2015年は当社参入主要39市場、2016年は当社参入主要38市場、2017年は当社参入主要37市場、2018年～当社参入主要38市場)

2) 家庭品SCI 当社参入主要15市場計 前年同期比 (%)

	2016年 年計	2017年 年計	2018年 年計	2019年 年計
販売金額	105	103	102	105
販売個数	101	101	100	102
平均単価	104	102	103	104

(株)インテージ SCI データ

● S R I : 全国約3千店の小売店POSデータによる推計、 S C I : 全国約5万人の消費者モニターによる購入実績データ

3) OTC医薬品SDI 当社参入主要7市場※計 前年同期比 (%)

	2016年 年計	2017年 年計	2018年 年計	2019年 年計
販売金額	104	103	102	100
販売個数	102	101	101	99
平均単価	101	102	101	101

※(株)インテージ SDIデータ (2016~2018年 主要8市場計)

※2019年1月よりパネルデータが変更。2016年まで遡ってデータを取得。

4) OTC医薬品SCI 当社参入主要2市場計 前年同期比 (%)

	2016年 年計	2017年 年計	2018年 年計	2019年 年計
販売金額	104	103	104	104
販売個数	102	100	102	102
平均単価	102	103	102	102

(株)インテージ SCIデータ

【2020年度 事業利益増減要因予想】

利益に与える影響額

(単位：億円)	年初想定
売上増減・構造変化等の影響	+20
トータルコストダウン（原価、物流費等）	+15
原油・植物油脂等の影響	△5
競争費用の増減	△10
その他費用の増減	△15
合計	+5

【2020年 経営環境 原料価格・為替の想定】

【原料価格の前提】

	ドバイ原油	国産ナフサ	粗パーム油
2020年想定	60.0\$/BBL	42,000円/KL	2,800RM/ton

【為替の前提】

	米ドル	タイバーツ
2020年想定	110.0円	3.60円

◇ご参考

	ドバイ原油	国産ナフサ	粗パーム油
2019年実績	62.0\$/BBL	41,975円/KL	2,173RM/ton

	米ドル	タイバーツ
2019年実績	109.2円	3.53円

今日を愛する。 LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

- ※当社グループは国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。
- ※金額は表示単位未満を切捨てして表示しております。